

泥まみれになりながら

◎延川ハス池レンコン掘り

11月8日、延川地区のハス池にて、延川・久保地区住民によるレンコン掘りが行われました。

このハス池では、普段は延川・久保地区の防火水槽として使用されており、毎年11月に水を抜いて大きく育ったレンコンを掘るそうです。

当日は60人が参加し、打ち上げ花火の合図とともに一斉に池に入り、粘土質の

土を手作業で掘り下げ、顔も服も泥まみれになりながらレンコン掘りに汗を流しました。

地元の方の話によると、当行事は昔から続く行事で、掘り始めの合図には、ホラ貝を使っていた時期もあるそうです。



未来のエースストライカー

◎鬼北ライオンズ杯・旗争奪サッカー大会

鬼北町スポーツ少年団が主催するサッカー大会が10月31日と11月1日、鬼北総合公園グラウンドほかで開催され、県内外から22チームが参加しました。

開会式では、近永スポーツ少年団の上田晃寛君が力強く選手宣誓。大会は、6年生の部、

4年生の部、2年生の部に分かれて行われ、選手は日ごろの練習の成果を発揮しようと奮闘しました。あいにく2日目は雨によってグラウンドの状況が悪くなりましたが、巧みにボールを操り、一生懸命プレーしていました。



平和への誓い新たに

◎平成21年度 鬼北町戦没者追悼式

10月7日、3年に1度開かれる鬼北町戦没者追悼式が広見体育センターで開催されました。

全員が684柱の御霊に黙祷を捧げ、甲岡秀文町長が「先の大戦で学んだ幾多の貴重な教訓を風化させることなく、戦争の悲惨さと平和の構築に

尽力しなければならぬ」と式辞を述べました。

また、遺族会を代表して渡邊光久会長が追悼の言葉を述べ、遺族や関係者が献花を行い、平和への誓いを新たにしました。

